



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2022年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 小方頼昌 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 秋季学術大会関連のご案内 日本歯科専門医機構報告 学会プロモーション活動
認定歯科衛生士リストのHP 公開にあたって AAP-JACP/JSP フェニックス大会のご案内

日本歯周病学会初のハイブリッド開催型学術大会を振り返って



第64回秋季学術大会
大会長 三谷章雄

2021年10月15日と16日の両日にわたり、名古屋市国際会議場にて、第64回秋季学術大会が開催されました。第64回秋季以前の過去3大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、その時期の適切な判断により、Web開催されました。一方、フェイス・トゥ・フェイスでの討論、仲間との何気ない会話や新しい出会いの機会が失われた状況に対して、大きな損失であるという認識の下、行政からの対策や措置、各大学により示される行動指針を確認させていただきながら、また参加者・企業の皆様にご不便をかけながらも、本大会の現地開催判断をお待ちいただくこととしました。時期が迫るにつれ、感染者数の増減予測が開催時期にちょうど底をつくとの試算となり、ハイブリッド開催を決定することとなりました。この決定は、会期の約1カ月前であり、多くの皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。ハイブリッド形式は開催校の負担が増えますが、良い点もありそうです。実際、現地参加された方は研究や臨床に関するディス

カッションを主目的に来場され、Web参加された方は情報のアップデートを主な目的として視聴いただいていたように感じました。現地参加者は全参加者のおよそ1/4~1/6程度となったようですので、会場規模を以前の1/2~1/3の広さに抑えることで施設選択肢の増加と経費削減に繋がりそうです。今回の開催ノウハウを次期大会以降に伝達していくことが、私の使命であると考えております。

本大会テーマは“歯周治療でおいしい人生をサポート”とし、歯周治療によって“食事”と“健康な人生”の二重の旨みを得ることができることを示すべく、プログラムを選定しました。現在、当学会の会員構成は、大学関係者よりも一般歯科医師/歯科衛生士の割合が多くなっており、皆様の興味のある分野も多種多様となっています。その点を踏まえ、今後訪れるSociety5.0時代に鑑み、IoTやAIといった話題に関するプログラムも含め、本当に多彩で素晴らしい内容となりました。

今回の初のハイブリッド開催では、4,853名が参加した学術大会運営を無事終了することができました。参加者の皆様のご協力のおかげでクラスター等の新型コロナウイルスに関連した問題もなく、無事に終了できましたことを改めて感謝申し上げます。稿を終えるにあたり、第64回秋季学術大会にご参加いただきました皆様、協賛企業様および関係者各位に厚く御礼申し上げます。

第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和 4 (2022) 年 9 月 2 日 (金), 3 日 (土) の 2 日間 にわたって, 仙台国際センターにおいて第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会を開催いたします。今大会のメインテーマは、「世界を先導する歯周病学を目指して」といたしました。日本歯周病学会は, 60 年以上の永きにわたり, 歯周病学研究のパイオニアとして, 日本の歯科医学界を先導してきました。今後のポストコロナ社会を見据え, 日本歯周病学会の研究力を改めて振り返り, さらに歯周病学研究の発展を考えていく大会にしたいと思えます。

新型コロナの感染状況に鑑みて, 開催形式は, 現地開催とともに講演の事後配信を合わせたハイブリッド開催を計画しています。

大会プログラムは, 特別講演として, 酸化ストレス研究の第一人者で, 15 万人ゲノムコホート研究を指揮されている山本雅之先生 (東北大学大学院医学系研究科教授・東北メディカル・メガバンク機構機構長), 海外特別講演として, 免疫学の世界的権威である George Hajishengallis 先生 (ペンシルバニア大学歯学部教授) にご講演いただく予定です。

シンポジウム I は, 「AI が拓く医療の近未来」: 中澤徹先生 (東北大学大学院医学系研究科教授), アサン・バドルル先生 (フィリップス・ジャパン データサイエンティスト), シンポジウム II は, 「歯周組織の分子基盤解析による疾患形成・病態解明と臨床への応用」: 山城 隆先生 (大阪大学大学院歯学研究科教授), 山田将博先生 (東北大学大学院歯学研究科准教授), 鈴木茂樹先生 (東北大学大学院歯学研究科講師), シンポジウム III は, 「EBM に基づいた歯周組織再生療法の現在と未来」: 北村正博先生 (大阪大学大学院歯学研究科准教授), 中山洋平先生 (日本大学松戸歯学部准教授), 大月基弘先生 (DUO デンタルクリニック院長) を企画しています。

認定医・専門医教育講演は林 丈一朗先生 (明海大学歯学部准教授), 歯科衛生士教育講演は星 嵩先生 (医療法人星仁会星歯科医院) にご講演いただきます。

また, 日本歯科専門医機構共通研修として, 高島響子先生 (国立国際医療研究センター) による倫理委員会企画講演を予定しています。

さらに, 歯科衛生士シンポジウム, ランチョンセミ

ナー, スイーツセミナー, 一般口演, 衛生士口演, 臨床ポスターなど, 各講演発表を企画, 準備しています。詳細は今後, 学術大会ホームページにてご案内いたします。

杜の都, 仙台の 9 月は, 気候も穏やかで, 秋の気配も感じられるさわやかな緑にあふれた町並みとなります。学術大会の会場である仙台国際センターは, 仙台駅から直通の地下鉄東西線, 国際センター駅に直結しており, 交通の便も大変よい会場です。近くには, 青葉城址 (仙台城跡), 仙台市立博物館, 宮城県立美術館, 東北大学川内キャンパスなどもあり, 風光明媚な所です。仙台名物の牛タン, 金華マグロ・カツオ, ずんだ餅などを楽しみつつ, 多くの先生方にふるってご参加いただければ幸いです。

新型コロナ感染症については, まだまだ予断を許しませんが, さまざまな感染対策を講じたうえで, 皆様が安心・安全にご参加いただけるよう, 関係者一同, 全力で準備に取り組んでまいりますので, 全国より多数の皆様のご参加を心より, お待ち申し上げます。

大会長 山田 聡

(東北大学大学院歯学研究科歯内歯周治療学分野)

1. 会 期

令和 4 (2022) 年 9 月 1 日 (木), 2 日 (金), 3 日 (土)

2. 会 場

仙台国際センター
〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山

3. テーマ

世界を先導する歯周病学を目指して

4. 事前参加登録期間

令和 4 (2022) 年 4 月 18 日 (月) より

	事前	当日
正会員 (歯科医師・医師ほか)	5,000 円	8,000 円
準会員 (パラデンタルを含む 上記以外)	3,000 円	6,000 円
非会員 (歯科医師・医師)	10,000 円	13,000 円
非会員 (上記以外)	5,000 円	8,000 円
学 生 (大学院生は除く)	当日のみ	1,000 円

5. 演題および抄録登録期間

令和4(2022)年4月18日(月)正午より
5月12日(木)正午まで

第65回秋季日本歯周病学会学術大会 事務局
東北大学大学院歯学研究科歯内歯周治療学分野
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
TEL: 022-717-8336 FAX: 022-717-8339

第65回秋季日本歯周病学会学術大会 運営事務局
(株)日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE 営業部内
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル
6階
TEL: 06-4256-3869 FAX: 06-6204-1763
E-mail: jspf65@nta.co.jp
学術大会 HP: <http://web.apollon.nta.co.jp/jspf65>



第65回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター) 発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター(認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表の演題募集は、一般演題とは別になります。下記の要領でお申し込みいただくこととなりますが、受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細はサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が学会認定資格(認定医・歯周病専門医あるいは認定歯科衛生士)を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

2022年4月18日(月)正午より

2022年5月12日(木)正午まで

※登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいため、お早めに登録をお

済ませてください。

演題申込時には学術大会ホームページ記載の留意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようお願い申し上げます。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。**特に「国内未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」に係る症例は臨床ポスターとしての発表は不可です。また臨床研究発表では所属機関の倫理委員会等の承認、症例報告の場合は患者の同意を得ていることをポスターに明記する必要がありますので、ご注意ください。**

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます(専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位)。なお、感謝状の授与方法は「ポスター討論時に学会事務局より手渡し」→「学術大会終了後郵送」に変更させていただきます。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmです。表示

形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。演題番号の個所や顔写真の掲示場所、「同意や承認」(手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等不必要の表示、利益相反状態の開示(コメント))の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。なお、演題登録後における抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。ただし、なんらかの事情で発表ができなくなった場合は運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いた

だいたすべての発表が選考対象となります(ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外)。なお、臨床ポスター賞・ベストデンタルハイジニスト賞では事前審査をいたします。詳細は学術大会ホームページの演題登録画面よりご確認ください(事前審査提出締切:臨床ポスター賞、ベストデンタルハイジニスト賞ともに2022年7月29日(金)予定)。受賞発表および表彰は次回学術大会(第66回春季日本歯周病学会学術大会)にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管にご協力願います。

専門医委員会委員長 吉成伸夫

認定医委員会委員長 山本松男

歯科衛生士関連委員会委員長 坂上竜資

認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 認定歯科衛生士申請(第35回認定歯科衛生士認定審査)および更新

2022年5月23日(月):受付開始

2022年6月10日(金):締め切り(消印有効)

2022年6月頃:申請および更新に関する書類審査会開催

2022年8月頃:(申請者のみ)ケースプレゼンテーション

2022年9月1日(木):申請・更新合格者を理事会で承認

2022年9月2日(金):第65回秋季学術大会(仙台)時に合格発表

2022年10月頃:認定歯科衛生士認定証発行

2. 専門医・指導医申請(第67回専門医・指導医認定審査)および各資格の更新

2022年6月13日(月):受付開始

2022年7月1日(金):締め切り(消印有効)

2022年7月頃:申請および更新に関する書類審査

会開催

2022年8月頃:(専門医申請者のみ)専門医認定試験(ケースプレゼンテーションと口頭試問)開催

2022年9月1日(木):各資格申請・更新合格者を理事会で承認

2022年9月2日(金):第65回秋季学術大会(仙台)時に合格発表

2022年10月頃:専門医・指導医認定証発行※

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認証書は2022年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

3. 認定医申請(第28回認定医認定審査)および更新

2022年6月27日(月):受付開始

2022年7月15日(金):締め切り(消印有効)

2022年7月頃:申請および更新に関する書類審査会開催

2022年9月1日(木):(申請者のみ)筆記試験会場:仙台国際センター

申請・更新合格者を理事会で承認

2022年9月2日(金):第65回秋季学術大会(仙台)時に合格発表

2022年10月頃:認定医認定証発行

⇒平成 30 (2018) 年 1 月 1 日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講 (1 回以上) が義務付けられました。

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ (<https://www.perio.jp>) をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。なお、規則・細則は改定されることがありますので、ホームページにおける申請受付前 1 カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は 2022 年 6 月 13 日 (月)～2022 年 7 月 1 日 (金) (消印有効) です。申請・更新手続き

については、学会ホームページ (<https://www.perio.jp>) に記載してありますので、これに従い手続きを行ってください。

認定医、専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は 2022 年 6 月 13 日 (月)～2022 年 7 月 1 日 (金) (消印有効) です。手続きの方法等を学会ホームページ (<https://www.perio.jp>) に記載しておりますので、これに従い手続きを行ってください。2022 年 8 月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

第 25 期理事長選挙中間報告

来る令和 4 (2022) 年 6 月 2 日に開催される、第 65 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において、次期理事長選出選挙を行います。

理事長選挙管理委員会より、事前に理事長有資格者の先生方に立候補の意思の確認をさせていただいたところ、下記の 3 名の先生が「理事長有資格者として理事会の議を経て選挙管理委員会に推薦される事」に同意してくださいました。なお、所信表明をご執筆いただいております。

同意者が 3 名にとどまったため、評議員選挙での上位 5 名を決定する必要がなくなり、選挙は 6 月 2 日の第 65 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会での 1 段階選挙となります。

しかし、規定上の手続きにより、選挙の前に理事会において次期理事長有資格者 3 名を一括して選挙管理委員会に推薦いただく必要があり、持ち回り会議 (郵送) によりご了承をいただきました。

結果といたしまして、選挙権を有する理事 54 名中 54 名のご返答をいただき、その全員に理事会よりの推

薦として同意いただきましたのでご報告させていただきます。

定款 37 条の 3 分の 2 以上を満たしておりますので理事会 (持ち回り会議) として成立し、第 38 条による理事総数の過半数の同意も得られましたので正式に理事会承認とさせていただきます。

3 名の「次期理事長有資格者」を選挙管理委員会より「次期理事長候補者」として令和 4 (2022) 年 6 月 2 日に開催される、第 65 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において報告させていただき、当日直接選挙が行われます。

記

次期理事長候補者：坂上竜資，沼部幸博，高柴正悟
(届出日順)

以上

理事長選挙管理委員会委員長 八重柏 隆

日本歯科専門医機構報告

ニュースレター 2021 年 2 号以降、現時点までの歯周病専門医に関する対応について、会員各位にご報告します。流動的な状況もございますので、今後、取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも、会員各位に対しましてはタイムリーに情報を発信させていただきますので、会員情報の登録内容のご確認、ならびに電子メールご登録をお願いします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の会員カード
をご参照ください。



1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

すでにご案内しましたとおり、歯周病専門医新規・更新の手続きに際し、令和 2 (2020) 年度以降、日本歯科専門医機構（以下、「機構」）が認定した『共通研修 1 単位×2 (講演)/年度』の受講が必須となっております。本学会では会員負担を考慮し、本年度も第 65 回春季学術大会内の医療安全講演、第 65 回秋季学術大会内の倫理講演をおのおの「共通研修」認定を受けられるよう、講演プログラムを編成しております。

なお、令和 4 (2022) 年 4 月 1 日より「共通研修」制度が再編され、『①医療倫理、②医療安全、③院内感染対策、④患者・医療者関係の構築、⑤医療関連法規・医療経済』の各 5 分野を 5 年間で最低各 1 単位以上、合計 10 単位の受講が必須とするカリキュラムへ変更となりました。また、COVID-19 感染拡大による受講が叶わなかった専門医に対し、特例措置が設定されました。

学会ホームページに掲載しているフローチャートにて現時点のご自身の共通研修単位をご確認ください。

歯周病専門医「共通研修」確認用フロー
チャート（新規・更新共通）

https://www.perio.jp/member/certification/special/application_jdsb.shtml



2. 歯周病専門医広告標榜について

令和 3 (2021) 年 10 月 1 日に「歯科専門医広告標榜に関する厚生労働省告示一部改正について」が発出されました。これにより、広告標榜可能な歯科専門医＝機構が認証した歯科専門医のみとなり、従来の「日本

歯周病学会が認定した歯周病専門医」（以下、JSP 専門医）は除外されました。

JSP 専門医の機構認証が段階的に行われていることから、令和 3 (2021) 年 9 月 30 日までに認定された JSP 専門医については、当分の間、JSP 認定歯周病専門医として広告することができます。機構認証を受けた JSP 専門医が広告標榜を行う場合、同年 10 月 1 日以降は「機構認証歯周病専門医」で行っていただくことになり、「JSP 認定歯周病専門医」は使用できません。なお、令和 3 (2021) 年 10 月 1 日時点ですでに「JSP 認定歯周病専門医」として広告標榜を行っている場合、「機構認証歯周病専門医」を受けた旨、広告標榜を行うまでは従来の「JSP 認定歯周病専門医」の広告標榜が認められております。

3. 歯周病専門医の認証書発行について

ニュースレター 2021 年 2 号では機構から発行される認証書には「機構」と「日本歯周病学会」の両団体が併記されると記載しましたが、2. の歯科専門医広告標榜に関する令和 3 年度厚生労働省告示第 347 号により、発行元の記載は機構のみとなりました。この認証書は準備でき次第、機構から発行される見込みです。

なお、日本歯周病学会「歯周病専門医認定証」は今後も従来どおり発行いたします。「歯周病専門医記念の楯」もご希望であれば引き続き発行いたします。

4. 令和 6 (2024) 年度以降における機構認証に関わる受益者負担（経費負担）について

機構の認証を受けるに際し、その審査料としておおむね 11,000 円（税込）/申請者が請求されています。日本歯周病学会では移行措置として、令和元 (2019)～5 (2023) 年度分については、その追加経費を学会で負担することを機関決定したところですが、令和 6 (2024) 年度以降については、歯周病専門医への周知がなされたことに鑑み、現在の申請料・更新料に上乘せし、受益者負担とさせていただくことを検討しております。詳細は次号以降、改めてご案内いたします。

5. その他

機構より、歯周病専門医申請・更新時に勤務実態・診療実績の提示を求められております。その対応に関しては申請・更新者の負担にならない方法を本学会内部で検討中です。

認定歯科衛生士リストのホームページ公開にあたっての意向確認

現在、日本歯周病学会では歯周病の予防および治療法のさらなる国民への周知に特化した新しいホームページを作成しております。この新しいホームページ開設時に合わせて、日本歯周病学会認定歯科衛生士が所属されている医療機関受診を希望している国民向けに同リストを公開する予定です。

掲載する内容は下記のどちらかです。

- お名前、勤務先名、勤務先連絡先（住所・電話番号）、勤務先ホームページ URL、最寄駅名
- お名前のみ

掲載希望される場合、会員登録されている情報を掲載いたしますので、現在の会員登録データの確認を口腔保健協会会員システム「OHASYS」よりお願いします。

- 口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の会員カード
をご参照ください。



なお、お名前と勤務先名だけ等、一部内容のみの掲載希望は承っておりませんので、ご理解願います。掲載後も事務局宛に連絡をいただければ、随時取り下げも可能です。

- 意向確認回答用フォーム https://ohal.heteml.net/jsp/form_20220224/

回答期限：2022年5月6日（金）



歯科衛生士関連委員会

学会プロモーション活動について

COVID-19 感染拡大を契機に、社会のデジタル化が進んでいます。学会活動も例外ではなく、オンライン形式の学術大会開催等、新しい学会のあり方が問われています。

従来から日本歯周病学会が実施している国民に対する歯周病啓発活動についても、より多くの国民が学会からの情報に触れられるように、積極的に進めています。以下に現状を報告いたします。

1. 国民向け新ホームページの作成

現状の日本歯周病学会ホームページは、国民へ情報を発信する部分が歯周病 Q & A のみであり、ほとんどありませんでした。歯周病の危険性、予防の重要性の社会的認知度が高まるにしたがって、本学会のホームページがその情報源として重要な役割を果たすようになってきています。

このような現状を受け、本学会では現在のホームページを（会員向け・医療従事者向け）に特化し、国民向けホームページを別建てで作成することにしました。

現在、公開に向けてコンテンツを作成しています。公開後は歯周病の啓発活動等で利用いただければと思

います。

2. 国民向け歯周病関連の PR 動画作成

コロナ禍でオンラインに接触する時間が増えたことを受け、日本臨床歯周病学会と共同で、国民に向けた歯周病啓発のための PR 動画を作成しています。

第1弾として、まだ歯周病に関心のない若年層を対象とした「カジュアルコンテンツ」を準備しています。このカジュアルコンテンツは計6本（1本当たり2分程度）のアニメ動画で、歯周病に関心をもってもらうことを主目的としています。若年層に人気があるイラストレーターと声優を起用し、2022年4月18日（よい歯の日）に合わせて公開予定です。

第2弾としては、歯周病に悩まれており、すでに歯周病に関心をもっている人に向けた動画の作成を予定しています。この動画は歯科医院内の受付・待合室で流せるような内容を予定しています。

3. プレスリリースの発出

上記の実施に先立ち、2021年11月8日（いい歯の日）に歯周病に関するメディア向けの PR アクションを行いました。この目的は、コロナ禍の新習慣において生まれるリスク、必要となる口内ケアなど、メディ

アに取り上げられやすい情報を基にリリースを作成し発信することでメディアへの掲載を狙い、歯周病の社会的関心を高めるためのものです。掲載されたメディアを以下に紹介します。

• マイナビニュース「朝の歯磨き「しない」「たまにしかしない」と回答した人の割合は？」(2021年11月8日発行)
<https://news.mynavi.jp/article/20211108-2178644/>



• 日刊SPA「若者の5人に1人は朝の歯磨きをしない」コロナ禍で進行する歯周病の恐怖」(2021年12月8日発行)
<https://nikkan-spa.jp/1798212>



• @DIME「歯科医が解説！マスク口臭や歯周病を予防する歯みがきテクニック」(2022年3月1日発行)
<https://dime.jp/genre/1329313/>



4. 歯周基本治療の啓発 PDF の作成

臨床研修委員会を中心に、歯科医師向けの歯周基本治療の啓発 PDF の作成を行っております。本 PDF は、すべての歯周病患者さんが適切な歯周病治療を受けることができるようにすることを目的として作成された、一般歯科医師・歯科衛生士向けの指南書になります。本年度は歯周外科治療版の作成に取りかかる予定です。

理事長 小方頼昌
広報委員会委員長 三谷章雄
臨床研修委員会委員長 多部田康一

第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会 2022年大会のご案内

第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2022年大会(AAP-JACP/JSPフェニックス大会)が、下記のとおり開催されます。

開催日: 令和4(2022)年10月27日(木)~30日(日)
※現地時間

会場: Phoenix Convention Center, Phoenix, Arizona, U.S.A.

日本からも多くの先生方が演者として採択されております。

参加登録は、JACP/JSP 会員専用登録サイトで行ってください。詳しい登録方法は、日本歯周病学会ホームページ (<https://www.perio.jp/> AAP-JACP/JSP

大会バナー)でご案内中です。順次更新される当該ページの最新情報にご注目ください。また、同大会期間中に JACP/JSP ポスターセッションも下記カテゴリで開催され、優秀な発表に両学会から表彰(JACP/JSP ポスター賞)が行われます。

ポスターカテゴリ: General (basic research, clinical research), Case Report, Dental Hygiene (歯科衛生関連の症例報告および臨床研究)

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

理事長 小方頼昌
国際交流委員長 吉村篤利

学術賞・研究助成・地域活動賞・若手研究者合宿のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。なお、今年度の企画調査研究助成募集はございません(隔年での募集: 次回募集は2023年)。

申請期間: 令和4(2022)年4月1日~5月31日(1, 2), 令和4(2022)年2月1日~5月31日
※消印有効(3)
申請書類提出用ユーザー名: JSP-2022(1, 2)

申請方法：ホームページからの申請（1, 2）。郵送（3）

1. 第20回日本歯周病学会学術賞（JSP Distinguished Scientist Award）（令和4（2022）年度）

令和3（2021）年度実績：採択数2/応募数9

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞盾）のほかに副賞 LION Award（賞金20万円）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

https://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_science/



2. シーズ育成若手奨励研究助成（令和4（2022）年度）

令和3（2021）年度実績：採択数1/応募数2

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

https://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_seeds/



3. 地域活動賞（JSP Regional Activity Award）（令和4（2022）年度）

令和3（2021）年度実績：採択数3/応募数4

日本歯周病学会地域活動賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的として2018年度に創設されました。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>



4. 第8回若手研究者合宿

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む1泊2日の合宿形式のイベントです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

歯科衛生士教育講演

今年度は宮崎県、沖縄県での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況に鑑み、開催日時・方法を決定いたします。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

臨床研修会

今年度は愛媛県、群馬県、沖縄県、福井県での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況に鑑み、開催日時・方法を決定いたします。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

シーズ育成若手奨励研究助成 (2021年度)

濱本結太

(広島大学病院歯周診療科)
「糖尿病神経障害によって引き起こされる咀嚼筋機能低下とそのメカニズムの解明」



企画調査研究助成 (2022-23年度)

應原一久

(広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室)
「抗凝固剤内服中患者の歯周病治療の安全性と有効性に関する疫学的研究」



第21回学術賞 (2021年度)

片桐さやか

(東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科歯周病学分野)
「口腔と全身との関わり—歯科医師として健康寿命に寄与出来ること—」



福田隆男

(九州大学病院歯周病科)
「歯肉幹細胞由来エクソソームのM2マクロファージ誘導を介した革新的歯周治療の開発」



第19回会誌賞 (2020年度)

基礎分野 「生物学的に許容できる歯根面を得るためのルートプレーニング：実験的研究」62巻(1)：1-15, 2020

加納千博, 小林宏明, 野崎浩佑, 妻沼有香, 須藤毅顕, Khemwong Thatawee, 三神 亮, 和泉雄一



筆頭著者所属：東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科歯周病学分野

臨床分野 「組織酸素飽和度及び局所血流の測定に基づくヒト歯肉炎症の評価」62巻(2)：82-95, 2020

須藤嵩文, 井川資英, 山田 聡
筆頭著者所属：東北大学大学院歯学研究科口腔生物学講座歯内歯周治療学分野



優秀臨床ポスター賞 (第64回春季学術大会)

最優秀賞ポスター賞

小出容子

(昭和大学歯学部歯周病学講座)
「人工骨移植による歯周組織再生療法を行った17年経過症例」



優秀賞ポスター賞

永原隆吉

(広島・医療法人社団日本銅管福山病院)
「根尖を含む垂直性骨欠損に対して歯周組織再生療法が奏功した症例 (Stage IV Grade A)」



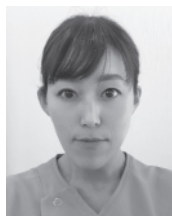
ベストハイジニスト賞（第64回春季学術大会）

2021年度功労賞

徳丸 操

（広島・医療法人社団日本銅管福山病院）

「病院歯科介入により高齢者糖尿病を有する広汎型慢性歯周炎患者に対して歯周基本治療により血糖コントロールの改善に至った症例」



科研製薬株式会社

サンスター株式会社

デンタルプロ株式会社

2021年度地域活動賞

公益社団法人相模原市歯科医師会「成人歯科健康診査とかかりつけ歯科医機能」

公益財団法人新潟県歯科保健協会「公益財団法人新潟県歯科保健協会の取組について」

北海道雨竜郡秩父別町「歯周病予防 北海道雨竜郡秩父別町 25年間の取り組み」

第7回「若手合宿研修」（2021年度は3時間セミナー研修）開催報告

毎年、秋季学術大会に併せて開催しております「若手合宿研修」は、昨年度（2020年秋季）は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、残念ながら開催にいたりませんでした。2021年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行ったうえで、名古屋で開催される第64回秋季日本歯周病学会学術大会前日である2021年10月14日に、理事会会場にほど近いサイプレスガーデンホテルにて約3時間のセミナー研修として開催されました。

この合宿研修会は、若手研究者間の交流促進とリサーチマインドの活性化を目的として秋季学術大会時に開催されるものです。現在は、若手研究者が留学を目指すきっかけ作りや情報交換のサポートを目的とし

て、約10名のワーキンググループが企画しております。今回は12名の若手研究者の方が参加されました（写真1）。

研修会では、小方頼昌理事長より基調講演をいただき、歯周病研究を志された経緯やご自身の留学経験を踏まえて、これまでの研究活動や現在の研究内容についてのお話がありました。さらには、歯周病学を志す若手の先生方への熱いご期待を示されながら、研究者としての姿勢や、将来への展望についてもお話をいただきました（写真2）。若手の先生方には研究および臨床双方において今後の指針となる、大変有意義なご講演でした。続いて、初の試みとして、若手の先生方同士の交流および自由な発想を生み出す機会として、参



写真1（撮影時のみマスクを外しております）



写真2



写真3

加者を少人数グループに分け「歯科医療のグローバル化に必要なものは？」というテーマでブレインストーミングを行いました。参加者から出た各アイデアを実現性とコスト面を両軸とした座標位置で振り分ける手法、「グローバル化に必要なものは？」と題して各アイデアを島状にまとめる手法、各アイデアを「個人・組織・費用・相談窓口」に振り分ける手法により、アイデアの集約や整理さらには課題の抽出を行い、活発な意見交換の場となりました(写真3)。

研修後のアンケートの集計では、留学について前向きに考える機会になったとの回答もみられ、ブレインストーミングについても改善点の提案も含めて前向きな回答を得られました。次年度以降も引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に留意しつつ有意義な研修を企画すべく、開催方法や内容をワーキンググループにおいて検討してまいりますので奮ってご参加ください。

本研修会の企画・開催にあたりまして、小方頼昌理事長、学会あり方委員会委員長の沼部幸博先生、学会あり方委員会前委員長の高柴正悟先生、ワーキンググループの先生方に感謝を申し上げます。

ワーキンググループ 2021 年度幹事
鈴木茂樹 (東北大学)

次回幹事よりお知らせ：次回「若手合宿研究」は、第65回秋季日本歯周病学会学術大会に併せて開催いたします。仙台の地で、若手の先生方同士が知り合い、お互いの研究心を活性化できる研修を予定しています。研究や留学に熱意のある若手研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

2022 年度幹事 竹立匡秀 (大阪大学)

日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、刊行された日本歯周病学会会誌の掲載論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は、2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発行に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/perio/-char/ja>

日本歯周病学会会誌 Vol. 63 (2021) No. 3

• 総説

「内因性抗炎症分子 DEL-1 誘導による歯周病治療法の基盤研究」

前川知樹

「歯周組織再生を目指す新規サイトカイン療法と細胞治療の基礎研究」

加治屋幹人

・ミニレビュー

「臼歯部インプラント治療に必要な粘膜の条件を考える」

林 丈一郎, 申 基喆

・原著

「パノラマエックス線画像における根分岐部病変を自動検出する AI モデルの開発」

田島聖士, 園田央互, 小林 誉

「歯周炎新分類に基づく診断と歯の喪失との関連性評価」

島袋善夫, 沢田啓吾, 小清水まみ, 品田和子, 浅井晴美, 溝口あゆみ, 林 裕子, 塚本明奈, 宮後 緑, 西原風香, 西端隆子, 島袋美千代, 岩山智明, 藤原千春, 竹立匡秀, 村上伸也

「ヒノキチオールおよびシヤクヤクエキスは *Porphyromonas gingivalis* の歯肉上皮細胞への感染を抑制する」

稲垣みずき, 大谷浩淑

・トピック紹介

「歯周病原細菌による消化器がん発症・進行メカニズム」

高橋直紀, 多部田康一

・症例報告

「患者の生活環境と全身状態の変化に配慮した慢性歯周炎の 15 年経過症例」

小林梨江, 新井英雄, 浅沼真耶, 原 哲也

日本歯周病学会会誌 Vol. 63 (2021) No. 4

・原著

「超音波スケーラーから発生するエアロゾルの特性と口腔内外吸引装置による拡散防止効果の検討」

高橋直紀, 山縣貴幸, 峯尾修平, 加藤光太, 多部田康一

「オートインデューサー-2 阻害を介したヒノキチオールの *Porphyromonas gingivalis* への作用機序解析」

濱田昌子, 五味満裕, 吉田明弘

・症例報告

「広汎型重度慢性歯周炎の患者に対し歯周組織再生療法を行った 1 症例～橋本病（慢性甲状腺炎）との関連を考察する～」

首藤明日香, 首藤謙一, 麻生由莉江, 田仲美咲, 福岡拓郎, 松井正格, 牧草一人

「剝離性歯肉炎患者に対するエクオール検査とサプリメントメンテション(第 2 報):6 カ月以上経過した 3 症例」

川本亜紀, 菅野直之, 荻澤翔平, 白土博司, 関 啓介, 間中総一郎, 吉沼直人, 佐藤秀一

役員名簿

日本歯周病学会役員 (令和 3 (2021) 年 4 月 1 日～令和 5 (2023) 年 3 月 31 日)

理事長 小方 頼昌

副理事長 齋藤 淳

常任理事 稲垣 幸司 岩田 隆紀 梅田 誠 河口 浩之 木下 淳博 五味 一博 坂上 竜資

佐藤 秀一 佐藤 聡 申 基喆 高柴 正悟 辰巳 順一 多部田康一 中島 啓介

西村 英紀 沼部 幸博 野口 和行 三谷 章雄 山本 松男 湯本 浩通 吉成 伸夫

吉村 篤利

前理事長 村上 伸也

監事 伊藤 公一 永田 俊彦

庶務担当 佐藤 秀一 (幹事 西田 哲也) 会計担当 申 基喆 (幹事 中山 洋平)

名誉会員 安孫子 宜光 雨宮 璋 新井 高 池田 雅彦 石川 烈 伊集院 直邦 和泉 雄一

伊藤 公一 伊東 隆利 上田 雅俊 上野 和之 恵比須 繁之 太田 紀雄 大塚 吉兵衛

岡田 宏 岡本 莫 岡本 浩 奥田 克爾 加藤 熙 龜山 洋一郎 嶋井 久一

稲 豪洋 川瀬 俊夫 川浪 雅光 栗原 英見 斎藤 和子 齋藤 滋 零石 聰

島内 英俊 下野 正基 末田 武 滝口 久 田中 昭男 谷口 威夫 角田 正健

出口 眞二 永田 俊彦 中村 治郎 二階 宏昌 西原 達次 野口 俊英 野村 慶雄

原 宜興 船越 栄次 堀内 博 前田 勝正 宮下 元 宮田 隆 村井 正大

村山 洋二 矢嶋 俊彦 山崎 和久 山田 了 横田 誠 吉江 弘正 渡邊 達夫

Alice DeForest Gregory J. Seymour Martin A. Taubman Pierre C. Baehni

Thomas E. Van Dyke

評 議 員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科

- 菅谷 勉(歯周・歯内, 教)
- 田中佐織(大学病院, 講)

北海道医療大学歯学部

- 古市保志(歯周・歯内, 教)
- 加藤幸紀(歯周・歯内, 講)
- 長澤敏行(臨床教育管理運営, 教)
- 森 真理(大学病院, 講)

岩手医科大学歯学部

- 八重柏 隆(歯周療法学, 教)
- 村井 治(歯周療法学, 助教)

東北大学大学院歯学研究科

- 山田 聡(歯内・歯周, 教)
- 根本英二(歯内・歯周, 准)

奥羽大学歯学部

- 高橋慶壮(歯周病学, 教)

新潟大学大学院医歯学総合研究科

- ◎○多部田康一(歯周診断・再建学, 教)
- 高橋直紀(歯周診断・再建学, 准)
- 川瀬知之(移植・再生学, 准)
- 小林哲夫(総合病院, 准)
- 杉田典子(総合病院, 講)

明海大学歯学部

- ◎○申 基喆(歯周病学, 教)
- 林 丈一朗(歯周病学, 教)
- 荒木久生(総合臨床歯科学, 教)
- 溝部健一(保存回復学, 講)

東京医科歯科大学

- ◎○岩田隆紀(歯周病学, 教)
- 青木 章(歯周病学, 教)
- 片桐さやか(歯周病学, 准)
- 竹内康雄(歯周病学, 講)
- ◎○木下淳博(教育メディア開発学, 教)
- 荒川真一(生涯口腔保健衛生学, 教)

東京歯科大学

- 齋藤 淳(歯周病学, 教)
- 富田幸代(歯周病学, 准)
- 今村健太郎(歯周病学, 講)
- 石原和幸(微生物, 教)
- 伊藤太一(口腔インプラント学, 准)

日本歯科大学生命歯学部

- ◎○沼部幸博(歯周病, 教)
- 伊藤 弘(歯周病, 准)
- 関野 愉(歯周病, 准)
- 仲谷 寛(総合診療, 教)
- 大澤銀子(総合診療, 准)
- 小川智久(総合診療, 准)
- 南 こずえ(総合診療, 講)

日本歯科大学新潟生命歯学部

- ◎○佐藤 聡(歯周病, 教)
- 両角祐子(歯周病, 准)
- 大森みさき(総合診療, 准)
- 高塩智子(総合診療, 講)
- 葛城啓彰(微生物, 教)
- 平野恵実(歯科衛生士科, 衛)

日本大学歯学部

- ◎○佐藤秀一(歯周病, 教)
- 菅野直之(歯周病, 准)
- 吉沼直人(歯周病, 准)

- 西田哲也(歯周病, 講)
- 今井健一(細菌, 教)

日本大学松戸歯学部

- 小方頼昌(歯周治療, 教)
- 中山洋平(歯周治療, 准)
- 高井英樹(歯周治療, 准)
- 泉福英信(感染免疫, 教)
- 中村悦子(歯科衛生室, 衛)

昭和大学歯学部

- ◎○山本松男(歯周病, 教)
- 滝口 尚(歯周病, 准)
- 小出容子(歯周病, 講)
- 須田玲子(大学病院, 講)

神奈川歯科大学

- 小牧基浩(歯周病, 教)
- 青山典生(歯周病, 准)
- 両角俊哉(歯周病, 准)
- 菅谷 彰(歯学教育, 教)
- 児玉利朗(横浜クリニック, 教)
- 田村利之(横浜クリニック, 特任教)
- 浜田信城(微生物, 教)
- 鎌田要平(横浜クリニック, 講)

鶴見大学歯学部

- ◎○五味一博(歯周病学, 教)
- 長野孝俊(歯周病学, 准)
- 八島章博(歯周病学, 講)
- 白川 哲(短期大学部, 教)
- 小林一哲(短期大学部, 教)
- 吉川景子(附属病院, 衛)

松本歯科大学

- ◎○吉成伸夫(保存(歯周), 教)
- 宇田川信之(生化学, 教)
- 音琴淳一(健康増進口腔科学, 教)
- 田口 明(歯科放射線学, 教)
- 西窪結香(大学病院, 衛)

朝日大学歯学部

- ◎○辰巳順一(歯周病, 教)
- 北後光信(歯周病, 准)
- 安田忠司(歯周病, 講)
- 友藤孝明(社会口腔保健学, 教)
- 荒木美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)

愛知学院大学歯学部

- ◎○三谷章雄(歯周病学, 教)
- 菊池 毅(歯周病学, 准)
- 林 潤一郎(歯周病学, 准)
- 西田英作(歯周病学, 講)
- 福田光男(特殊診療科, 教)
- ◎○稲垣幸司(短期大学部, 教)
- 長谷川義明(微生物学, 教)

大阪歯科大学

- ◎○梅田 誠(歯周病学, 教)
- 田口洋一郎(歯周病学, 准)
- 前田博史(口腔治療学, 教)
- 合田征司(生理学, 教)

大阪大学大学院歯学研究科

- 村上伸也(口腔治療, 教)
- 北村正博(口腔治療, 准)
- 野崎剛徳(附属病院, 准)

徳島大学歯学部

- ◎○湯本浩通(歯周歯内, 教)
- 木戸淳一(歯周歯内, 准)
- 成石浩司(歯周病科, 講)
- 稲垣裕司(歯周病科, 講)
- 尾崎和美(口腔保健支援学, 教)
- 伊藤博夫(予防歯学, 教)

岡山大学学術研究院医歯薬学域

- ◎○高柴正悟(歯周病態学, 教)
- 森田 学(予防歯科学, 教)
- 山本直史(歯周病態学, 准)
- 大森一弘(大学病院, 講)

広島大学歯学部

- 水野智仁(歯周病態学, 教)
- ◎○河口浩之(大学病院, 教)

九州歯科大学

- ◎○中島啓介(歯周病, 教)
- 白井通彦(歯周病, 准)
- 村岡宏祐(クリニカルトレーニング開発, 講)

九州大学大学院歯学研究科

- ◎○西村英紀(歯周病学, 教)
- 讃井彰一(大学病院, 講)
- 福田隆男(大学病院, 講)

福岡歯科大学

- ◎○坂上竜資(歯周病, 教)
- 吉永泰周(歯周病, 准)
- 永井 淳(地域連携センター, 教)
- 金子高士(口腔医療センター, 教)
- 米田雅裕(総合歯科学, 教)
- 田中芳彦(機能生物化学, 教)

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

- ◎○野口和行(歯周病学, 教)
- 白方良典(歯周病学, 准)
- 中村利明(大学病院, 講)

長崎大学大学院医歯学総合研究科

- ◎○吉村篤利(歯周歯内, 教)
- 鶴 銅 孝(医療教育開発センター, 教)
- 尾崎幸生(歯周歯内, 助教)

慶應義塾大学

- 中川種昭(歯科・口腔外科, 教)
- 森川 暁(歯科・口腔外科, 講)

神戸常盤大学短期大学部

- 高橋由希子(口腔保健学科, 衛)

静岡県立大学短期大学部

- 吉田直樹(歯科衛生学科, 准)

太成学院大学

- 大浦 清(看護学部, 教)

東京歯科大学短期大学

- 杉 戸 博 記(歯科衛生学科, 教)

日本歯科大学東京短期大学

- 野村正子(歯科衛生科, 衛)
- 松澤澄枝(歯科衛生科, 衛)

九州看護福祉大学

- 金子憲章(口腔保健学科, 教)

(特非)日本臨床歯周病学会

- 高井康博(理事長)

(公社)日本歯科衛生士会

- 茂木美保(副会長)

一般関係(五十音順)

- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 赤堀 康(愛知県) | ○金子 至(長野県) | 鈴木基之(東京都) | 藤川 謙次(東京都) |
| 浅原 洋士(徳島県) | 鎌田 征之(東京都) | 鈴野 仁(東京都) | 藤田 剛(三重県) |
| 新井 英雄(岡山県) | 上條 博之(長野県) | 瀬戸口尚志(鹿児島県) | 藤本 淳(岩手県) |
| ○有田 博一(東京都) | 亀井 英彦(栃木県) | 田井 秀明(新潟県) | 保坂 均(群馬県) |
| 飯野 文彦(東京都) | 鴨井 久博(東京都) | 高井 靖子(群馬県) | 穂坂 康朗(東京都) |
| 池田 康男(静岡県) | 川村 浩樹(東京都) | 高島 昭博(福岡県) | 町頭 三保(鹿児島県) |
| 池田 頼宣(東京都) | 菊池 重成(東京都) | 高橋 潤一(東京都) | 松下 健二(愛知県) |
| 石谷 昇司(東京都) | 北村 秀和(東京都) | 滝川 雅之(岡山県) | 三浦 真由美(福岡県) |
| ○石原 裕一(東京都) | ○木村 英隆(福岡県) | 竹内 泰子(東京都) | 水上 哲也(福岡県) |
| 市丸 英二(佐賀県) | 久保田 健彦(新潟県) | 田中 秀樹(福岡県) | 溝部 潤子(大阪府) |
| 市村 光(埼玉県) | 熊谷 敦史(岩手県) | 田中 真喜(神奈川県) | 三辺 正人(千葉県) |
| 伊藤 正満(愛知県) | 黒柳 隆穂(愛知県) | 谷 真彦(長崎県) | 峯 柴 淳二(岡山県) |
| 岩本 義博(香川県) | 郷家 英二(東京都) | 谷 芳子(長崎県) | 宮尾 益佳(新潟県) |
| 内川 宗敏(長野県) | 香坂 陽介(山口県) | 谷口 崇拓(長野県) | 村上 弘(福岡県) |
| 内田 剛也(神奈川県) | 河野 寛二(奈良県) | 多保 学(埼玉県) | 村田 雅史(新潟県) |
| 内田 雄士(広島県) | 後藤 邦之(愛知県) | 土岡 弘明(千葉県) | 村橋 慶宣(大阪府) |
| 梅村 昌孝(愛知県) | 小林 宏明(東京都) | 土井 伸浩(広島県) | 日澤 優(東京都) |
| ○石澤 庸博(東京都) | 斎田 寛之(埼玉県) | 富井 信之(新潟県) | 茂木 信道(神奈川県) |
| 遠藤 憲行(岩手県) | 佐瀬 聡良(千葉県) | ○中島 貴子(新潟県) | 梁川 輝行(岩手県) |
| 大石 慶二(香川県) | 真岡 淳之(滋賀県) | 長縄 敬弘(愛知県) | 柳田 学(大阪府) |
| 大江 丙午(岡山県) | 澤田 弘一(岡山県) | 二階堂 雅彦(東京都) | 山下 素史(福岡県) |
| ○大野 友三(愛知県) | 汐見 登(静岡県) | 西原 勉彦(福岡県) | 吉田 茂(福岡県) |
| 岡部 京平(京都府) | 洪川 義宏(北海道) | 新田 浩(東京都) | ○若林 健史(東京都) |
| 奥田 一博(新潟県) | 島袋 善夫(大阪府) | ○東 克章(熊本県) | 渡辺 和志(埼玉県) |
| 長田 豊(長崎県) | 清水 宏康(東京都) | 菱川 敏光(愛知県) | 渡辺 孝章(神奈川県) |
| 小田 茂(東京都) | 白木 雅文(岐阜県) | 平野 治朗(神奈川県) | 渡辺 久(神奈川県) |
| 片山 明彦(東京都) | 杉田 裕一(茨城県) | 平野 裕之(京都府) | |
| 加藤 義弘(北海道) | 杉山 貴志(神奈川県) | ○廣瀬 哲之(神奈川県) | |

賛助会員

- | | | |
|------------------|--------------------|------------------|
| 医歯薬出版(株) | サンデンタル(株) | 株白鵬 |
| (株)NDC | 三宝製薬(株) | ヒューフレディ・ジャパン合同会社 |
| エビス(株) | (株)ジーシー | (株)フィリップス・ジャパン |
| (有)エルバ | (株)ジーシー 昭和薬品 | プランネットワークス(株) |
| 長田電機工業(株) | (株)松風 | プロクター・アンド・ギャンブル・ |
| (株)ガイドデント | ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) | ジャパン(株) |
| 花王(株) | ジンヴィー・ジャパン合同会社 | ホワイトエッセンス(株) |
| 科研製薬(株) | ストローマン・ジャパン(株) | (株)マイクロテック |
| クインテッセンス出版(株) | タカラベルモント(株) | (株)モリタ |
| グラクソ・スミスクライン・コン | デンタルプロ(株) | (株)ヨシダ |
| シューマー・ヘルスケア・ジャパン | デンツプライシロナ(株) | ライオン(株) |
| (株) | (株)トクヤマデンタル | ライオン歯科材(株) |
| 小林製薬(株) | (株)ニッシン | (株)ワイディエム |
| 佐藤製薬(株) | 日本歯科薬品(株) | |
| サンスター(株) | 白水貿易(株) | |

(五十音順)

日本歯科医学会役員 (令和3(2021)年4月1日~令和5(2023)年3月31日)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 理事 | 小方 頼昌 | | |
| 評議員 | 齋藤 淳 | 五味 一博 | 沼部 幸博 |
| 予備評議員 | 佐藤 秀一 | 佐藤 聡 | 申 基喆 |

[お願い] 名称の変更・所属評議員の異動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

これまでで最も身近に感じられた COVID-19 の第 6 波もピークを越えた感があります。2 年あまり前に感染拡大が始まって以来、全世界の政府、自治体、企業、学校などは言うに及ばず、われわれ学会や個人も感染のリスクを避けるために数々の対策を行い、活動を自粛して日常を守ろうと努力してきました。一方、最近のウクライナでの軍事活動の報道に接するたび、日常を脅かす行動が意図的に行われていることに大きな矛盾を感じてしまいます。

さて、今回お届けするニューズレター 2022 年第 1 号は、初のハイブリッド開催となった昨秋の学術大会の報告から始まり、9 月に同じく仙台と Web とのハイブリッド開催が予定されている第 65 回秋季学術大会（大会長 山田 聡先生）と第 108 回 AAP 共催 JACP/JSP2022 年大会のご案内、認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ、次期理事長選挙の中間報告、専門医の申請や更新に必要な日本歯科専門医機構「共通研修」に関する報告、認定歯科衛生士リストの HP 公開にあたっての意向確認、各賞・助成等の新規募集と選考結果の報告、第 7 回若手合宿研修の開催報告など、内容が多岐にわたっております。

最後になりましたが、6 月には東京で春の学術大会（大会長 佐藤秀一先生）がハイブリッドで開催されますので、多数の会員の皆様が現地だけではなくオンデマンドで参加され、大会が有意義なものになることを祈念しております。

（広報委員会委員 北村正博）